

問 奥四万十博で
得るもの

答 体制作りができる

中山

このイベントで観光産業の創出ができて、来年以降に繋げる取り組みができるのか。

池田町長

今までの観光振興と全く違った積極的な取り組みであり、この機会に津野町のファンを増大させたい。多くの関係者が議論をして様々な計画をする動きが出来ており、これが今後に繋がっていく。

問 奥四万十博で何を
答 地域産業を潤す観光を

中山

四国内の日帰り、中国・近畿の一泊二日とか、どのような観光を目指すのか。今年一年の単発で終わらせないために何をするのか。

池田町長

集客・誘客を図る取り組みを実施しており、これを検証しながら来年以降の歴史博に繋げることで地域経済を潤す観光産業の創出を図っていく。

問 奥四万十博の
目玉は

答 検証しながら
進める

中山

来年度以降の経済効果を考えたとき、また来たいと思わせることが必要である。景色は一度見れば次は別の場所に行く。また食べたいと思わせる物があれば二度三度の来町に繋がる。津野町ならではの目玉となる商品や食の開発を。

戸田産業建設課長

目玉商品として突出した

問 総合センターの活用は
答 積極的な利用を計画

中山

体育館の完成イベントと、経済効果、健康増進・予防を見込んだ恒常的な活用と取り組みは。

川上教育長

イベントとして9月のワンと遊ぼうショー・10月に五輪選手によるジュニアバレーボール教室を計画している。また、今年の大

会には後援事業として特産物の提供も考えている。

県大会は困難であるが、郡・支部の大会誘致や春・夏の合宿などへの働きかけ、また、町内の商店・飲食店のチラシや弁当の注文などを商工会等と連携して取り組むなど、経済効果も考慮した利用計画を策定して取り組む。



B&G四国高校女子
バレーボール大会

ものがないが、リピーターを増やすためにはおもてなしの心が大切で、町民の方に関わりを持っていただくのが一番と考えている。

また、来られた方のニーズを調査しながら新たな商品開発等を関係者と検証しながら進めていく。